

様式1 <①調査研修費関係>

平成28年 / 月27日

八街市議会議長 加藤 弘 様

会派名
代表者名

誠和会
湯淺祐徳



先進地視察報告書

先進地視察の概要を下記のとおり報告します。

記

1. 視察者名

- ・ 湯浅祐徳
- ・ 小高良則
- ・ 石井孝昭
- ・ 小山栄治
- ・ 木村利晴
- ・ 小菅耕二
- ・ 鈴木広美
- ・ 山田雅司
- ・ 林 修三

2. 視察期間

平成28年 / 月20日 (水) ~ 平成28年 / 月22日 (金)
(3日間)

3. 視察先及び視察目的

- | | | | | |
|-----|--------------|--------------------------|---|----------------------|
| (1) | / 月 20 日 (水) | <u>福井県</u>
<u>あわら</u> | 市 | <u>HEECE構想</u> について |
| (2) | / 月 21 日 (木) | <u>石川県</u>
<u>能美</u> | 市 | <u>安住区道空域対策</u> について |
| (3) | / 月 22 日 (金) | <u>石川県</u>
<u>白山</u> | 市 | <u>議会改革、食育</u> について |
| (4) | 月 日 () | _____ | 市 | _____ について |
| (5) | 月 日 () | _____ | 市 | _____ について |



4. 視察報告

(1) あわら 市
(福井県)

HEECE構想(総合計画, 子育てについて)
支援

◆市の概要

福井県の最北端に位置し、面積は116.99km²。人口は現在29000人。平成16年3月1日に平成の大合併福井県第1号としてのあわら市が誕生。南部に田園地帯、東部に森林地帯、中央に温泉観光街が混在している。

◆視察時の状況

- ①視察日 平成28年1月20日 (水)
- ②視察時間 午前・午後 14時00分～午前・午後 16時00分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分
- ③視察会場 福井県あわら市役所市議会
- ④対応者職氏名 市議会事務局長 榊元 宮川 利秀
- ⑤説明者職氏名 総務部政策課長 小嶋 範久
- ⑥写真添付 別添

◆視察先調査事項の概要

・あわら市の先進的に取り組むHEECE構想へ若者が住んで生んで育ててくつるまちの実現の実際を研究、H(健康)E(教育)E(環境)C(コミュニティ)E(経済)の具体的な実践内容を伺う。

◆調査事項に対する会派視察目的

・八幡市の若い世代の子育令化が進み、若者の減り対策が迫られているため、この課題に取り組むあわら市を視察し、議会の中で取り上げたい総合計画の見直しに資するため。

◆市政との関連性(視察地選択の理由等)

・八幡総合計画が今見直しに入っており、更には子育て令化に伴う対策として八幡市、まち・ひと・しごと創生総合戦略計画が作られたが、実際に実践しつづけるための参考とする事が可能

◆市政の課題等に対し参考になった点等

・あわら市の重要政策であるめざす将来像へ若い世代が住み、生んで育ててくつるまちづくりは、そのまま今の八幡市の将来像であり、これがまち版HEECE構想を創る必要性を深く感じる。

4. 視察報告

(1) 能美市 定住促進支援制度地 について
石川県

- ◆市の概要 平成17年2月1日3町の村等合併により能美市が誕生。総面積84.14km²。農地20% 宅地12%。山林43%と山多し。人口49654人(平成27年12月1日現在)。全国的に有名な九谷焼を始めとする伝統工芸や能美五境餅、牛麩、謝罪の地等の史跡があり、森喜信元総理大臣、松井秀喜元プロ野球選手等輩出。
- ◆視察時の状況

- ①視察日 平成28年1月21日 (木)
- ②視察時間 午前・午後 10時00分～午前・午後 12時00分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分
- ③視察会場 能美市役所市議会
- ④応対者職氏名 能美市議会議長 米町政勝、市議会事務局長 松尾滋久
- ⑤説明者職氏名 市民生活部長 本多博明、企画振興課長 米多武照
- ⑥写真添付 別添

◆視察先調査事項の概要

全国的に進む人口減りのに伴い空き家現象が進み、その対策として定住促進空き家対策に先進的に取り組んでいる能美市を視察し同じ課題を抱える自治体への活用できる部分の研究を行う。

◆調査事項に対する会派視察目的

能美市では、急激な人口減を回避し安心に暮らすための4原則
①出生数を増やす ②子育て支援、雇用の安定化 ③移住者を増やす
④転出者を減らすの3増1減に重点を置いて取り組んでいることとわが町八幡市にも参考にして活用するため。

◆市政との関連性 (視察地選択の理由等)

空き家対策については特に条例化しおらず、できることから取り組んでおりわがまち八幡市でも国の施策を受け、できることから取り組むことを参考にしたい。空き家を利用し定住に転換していく発想をもっと対策すべきかと感じる。

◆市政の課題等に対し参考になった点等

最近めどのかからぬ人口減りの問題は全国の市町村の課題である。能美で行っている安心に暮らすための4つの原則は当市でも大いに参考にしたい。まちづくりが主体となる21世紀のまちづくりも住民の手づくりとしてまちを活性化させるものであり参考にしたい。

4. 視察報告

(1) 白山 市 議会改革、食料と地産地消 について
(石川県)

- ◆市の概要 平成17年2月1日2町5村の合併で白山市が誕生。総面積が754.93km² 人口11万3000人で金沢市に次ぐ県下第2位で、人口増加が続いている。林野が73.5%で霊峰白山の3つと12建立された寺社が多く、前前町といわれている。また四季を通じての祭りやイベントが多彩。
- ◆視察時の状況

- ①視察日 平成28年1月22日 (金)
- ②視察時間 ~~午前~~・午後10時00分～~~午前~~・午後12時00分
午前・午後 時 分～午前・午後 時 分
- ③視察会場 白山市役所市議会
- ④応対者職氏名 白山市議会事務局長 中村直人
- ⑤説明者職氏名 白山市議会事務局長 西川喜朗
産業界地産地消課長 山口和子
- ⑥写真添付 別添

- ◆視察先調査事項の概要
白山市議会と議会改革、活性化の取り組みと地産地消について
研究を深め、入浴施設に活用する部分の活用、平成17年から10年かけの
議会改革と人口減少対策も取り入れた議員講演会や通年議会の導入
議会報告会の取り組み、地産地消と食料をテーマにした食育やフードバンクについては参考
になった。

- ◆調査事項に対する会派視察目的
入浴施設が今期改選後、議会改革検討委員会が再編されたことにより
課題多い議会改革の先進例を学ぶこと、今後の活用する部分が多くなり
また、地産地消では平成27年4月に新しく課が誕生し市民への取り組み、それら
いつ、どのように販売していくか計画の地産地消の拡大に努めることの
必要性を研究

- ◆市政との関連性 (視察地選択の理由等)
基幹産業は農業とし、多くの野菜を生産している。入浴施設においては地産地消は
欠かせないことあり、新設された課やがらの活用は本市にも活用していきたい部分であり
また、議会改革についても、入浴施設を以てする点も課題となり、平成21年27年
本格的に取り組みの改善している点は学ぶことが多かった。

- ◆市政の課題等に対し参考になった点等
議会基本条例、議会改革講演会、議会改革フォーラムと通年議会の導入
議会令10型の予算決算常任委員会設置は入浴施設でも早くに参考にしたい点
地産地消課についても農政課の隣におき、入浴施設と連携して近隣の村や
富良野が047に定着するまでと懸念し、またその点を改善する点も学ぶ。

28年1月20日(水) 五市5市5所

五市5市5所
五市5市5所



五市5市5所
五市5市5所
五市5市5所

1月21日(木) 石川県能美市

能美市議会議場



能美市議会議長

半田仁文(左)



1月22日(金) 白山市

